

# 図書館職員のおすすめ本 2015 秋

郡山市図書館では、たくさんの本を所蔵しており、その中から図書館職員がみなさんにぜひ読んでほしい本を紹介いたします。

ぜひ、お近くの図書館においでいただき手にとってみてください。

## 児童書（絵本）

本のなまえ	どんな本
『あらまっ！』	<p>「もう寝なさい」とおばあちゃん。 「でも、ぼくのベッドがないよ」とパトリック。 「あらまっ」と叫んだおばあちゃんは……。</p> <p>ケイト・ラム/文 エイドリアン・ジョンソン/絵 石津ちひろ/訳 小学館</p>
『いいからいいから』	<p>かみなりが来ようが、おへそを取られようが「まあ、いいからいいから」おおらかなおじいちゃんに、ココロがほぐれる絵本です。</p> <p>長谷川 義史/作 絵本館</p>
『いたずらきかんしゃちゅうちゅう』	<p>ちいさいきかんしゃの“ちゅうちゅう”は、あるときひとりでにげだして……。</p> <p>画面いっぱいに展開される、ドキドキの大冒険です。</p> <p>バージニア・リー・バートン/文・絵 むらおか はなこ/訳 福音館書店</p>
『うえきばちです』	<p>うえきばちがあったので、つちをいれて、“のっぺらぼう”をうえました。</p> <p>意表をつく展開が楽しい絵本です。</p> <p>川端 誠/作 B L出版</p>
『おおかみと七ひきのこやぎ』	<p>「おかあさんだよ、あけとくれ」と、るすばんのこやぎたちの所におおかみがやってくる……。</p> <p>有名なグリムの昔話です。</p> <p>グリム/原作 フェリクス・ホフマン/絵 せた ていじ/訳 福音館書店</p>

## 図書館行事の関連本

図書館行事	関連書名	どんな本
<p>〔郡山市子ども読書活動推進事業読書フォーラム〕</p> <p>「<sup>ちせまゆこ</sup>横山幸子と千世繭子講演会」 ～家庭に読書や語りの文化を～</p> <p><b>【開催日時】</b> 平成 27 年 10 月 24 日（土） 午後 1 時 30 分から</p> <p><b>【場 所】</b> 中央図書館 （3 階 視聴覚ホール）</p>	<p>『百年前の報道カメラマン』</p>	<p>磐梯山の大噴火のようすと、明治時代の写真師としての使命感あふれる姿を臨場感あふれる表現で紹介されており、衝撃と驚きを感じる一冊です。</p> <p><sup>ちせまゆこ</sup>千世繭子/著 吉井忠/絵 講談社</p>
	<p>『東京ガラパゴス』</p>	<p>コバルトブルーの海、青く広がる空、空に浮かぶ白い雲、真っ赤なビーデビーデとブーゲンビリアの花に優しい風、そんなトロピカルアイランドの世界が感じられる東京ガラパゴス。</p> <p>東京のガラパゴスこと小笠原諸島の父島へ転校した少年が、自然のすばらしさに魅せられ自然と命の大切さを学び成長していく物語。この本で、少年と一緒に南の島を冒険してはどうでしょう。</p> <p>中学生の課題図書として、郡山市中学校教育研究会図書部会でも推薦している一冊です。</p> <p><sup>ちせまゆこ</sup>千世繭子/作 吉田純/絵 講談社</p>
	<p><b>【みのりのえほん】</b> 『ひとつぶのもりのたね』 『あおぞらとのはらのいえ』 『はるのあしおと』 『やまからのてがみ』</p>	<p>郡山市出身で現在、多くの自然に囲まれながら喜多方市の雄国山麓に在住している<sup>ちせまゆこ</sup>千世繭子さんが、山の動物たちの思いや生活をやさしくあざやかに描き、山のような動物達の世界が見えてきて、大人も子供もすんなりと入りこめる絵本シリーズだと思います。</p> <p>また、巻末には、山の動物や植物の解説がついており、山へ出かけたくなくなるのでは？</p> <p><sup>ちせまゆこ</sup>千世繭子/作 高野紀子/絵 フレーベル館</p>

秋の読書週間 各図書館展示本から1冊

〔秋の読書週間〕 10月27日(火)～11月9日(月)

図書館行事	題名	どんな本
<p>中央図書館 「没後25年 池波正太郎」展</p>	<p>『真田騒動—恩田木工—』</p>	<p>戦国を生き抜き、江戸に至るまで家名を残した信州・真田家に取材した“真田もの”5編を収録。</p> <p>「信濃大名記」は、関が原の戦いで、父昌幸、弟幸村と敵対する立場となった真田信幸の、大坂の陣での弟との今生の別れ、上田藩から松代藩に移封されるまでを描いています。また、表題作の「真田騒動」は、松代藩の五代目・真田信安のもと財政改革に尽力した恩田木工を描き、他に「錯乱」(直木賞受賞作)、「碁盤の首」「この父その子」を収め、「真田太平記」の先駆を成すものです。</p> <p>池波正太郎は、膨大な作品を残していますが、「鬼平犯科帳」「剣客商売」「仕掛人・藤枝梅安」の三大シリーズとともに「真田太平記」は有名です。</p> <p>真田ってどんな人?と歴史に詳しくなくとも、“真田もの”の世界に入りやすい一冊です。</p> <p style="text-align: right;">池波正太郎/著 新潮社</p>
<p>希望ヶ丘図書館 「アインシュタインを楽しむ」展</p>	<p>『アバウトアインシュタイン アインシュタインをめぐる70のミステリー』</p>	<p>アインシュタインに関する素朴な疑問に答えるという形で展開されるこの本は、人間としてのアインシュタイン、相対性理論そして、アインシュタインの遺産などを柱に「アインシュタインをめぐる70のミステリー」を設け、アインシュタインの謎に迫っています。</p> <p>サイエンスライターである著者のわかりやすい解説やイラストもあり入門書としては最適です。</p> <p style="text-align: right;">竹内 薫/著 秀和システム</p>

<p>安積図書館 「生誕 90 年 永井路子の本」展</p>	<p>『炎環』</p>	<p>昭和 39 年（1964 年）第 52 回直木賞受賞作品。著者 39 歳。 鎌倉幕府の成立、武士の台頭。源頼朝を中心に、鎌倉武士の生きざまを浮き彫りにした歴史小説。 昭和 54 年（1979 年）1 月から 12 月まで放送された NHK 大河ドラマ「草燃える」の原作。 キャスト：源頼朝（石坂浩二）、北条政子（岩下志麻）源頼家（郷ひろみ、頼朝と政子の間に生まれた最初の男子） 永井路子/著 光風書店</p>
<p>富久山図書館 「没後 50 年 谷崎潤一郎」展</p>	<p>『春琴抄』</p>	<p>プライドの高い盲目のお嬢様とそれに使える献身的な男の物語。 句読点と改行がない独特の文体は、音読すると琵琶法師の吟ずる歌のように格好良く聞こえるから、あら不思議。 ぜひ音読をしてみてください。 谷崎 潤一郎/著 新潮文庫</p>

## 一般書

題 名	どんな本
<p>『ジャズのある風景』</p>	<p>郡山に生まれ、ニューヨーク在住の山中千尋さんが、ジャズピアニストとして音楽活動を行っているニューヨークでの日常の出来事やミュージシャンとの関わりが描かれ、その音楽環境が目に浮かび、その中での山中千尋さんの力強く華麗なジャズピアノが聞こえてくるようなエッセイ集です。 本人のジャズピアノを聴きながら読んでみてはどうでしょう。 山中 千尋/著 晶文社</p>
<p>『本田宗一郎 やってみもせんで、何がわかる』</p>	<p>本田技研工業株式会社創立者である本田宗一郎の生い立ちから技術者としての熱い思いを、「不常識を非真面目にやれ」などの本田宗一郎独特の語録とともに社員や関係者にやる気を与え、育て上げた生涯が描かれている一冊です。 本田宗一郎は優れた技術者であるが、社員に対し怒鳴ったり人間関係は不器用そうに思えるが、人間本田宗一郎としての深い優しさと心づかいに感銘を受けるのでは。 伊丹 敬之/著 ミネルヴァ書房</p>

<p>『佐治敬三と開高健 最強のふたり』</p>	<p>一流企業のトップと芥川賞作家が同じ会社の社長と社員。そんな二人のそれぞれの夢の実現へ向けての友情を描いた伝記的ノンフィクションで、通常同様の2倍は楽しめます。</p> <p>「やってみなはれ」に代表される佐治敬三を含む一族の事業にかける執念、多趣味グルメのイメージが強い作家開高健の苦悩など意外な一面が詳細な取材により明らかに記されています。</p> <p>読後はモルツを飲みながら開高健の著作を読みたくなること請け合いです。</p> <p style="text-align: right;">北 康利/著 講談社</p>
<p>『残酷な王と悲しみの王妃』</p>	<p>16、17世紀のヨーロッパに生きた王と王妃たち。財宝や絵画など歴史的な華やかさの反面、愛憎の念が入り混じる激動の時代を生きた人間像が浮き彫りになります。</p> <p>歴史に詳しく無くても、絵画に馴染みが無くても、どちらからの切り口でも分かりやすく楽しめる一冊だと思います。</p> <p style="text-align: right;">中野 京子/著 集英社</p>
<p>「エイラ 地上の旅人」シリーズ 全6部16巻</p>	<p>今から3万年前の、人類の祖先が生きていた氷河時代のヨーロッパ。地震で孤児となったクロマニヨンの少女エイラが、言葉をもたない動物に近いネアンデルタールの一族に拾われ、様々な試練にたえながら成長していく姿が描かれています。</p> <p>エイラとオオカミのウルフとのじゃれあい、お互いの深い信頼があってこそその行為で、同じように野生馬、ライオン等の関わりも驚きの連続で、わくわくしながら、エイラのいた世界にタイムスリップします。現在の人類のあり方を考えさせてくれる一冊です。</p> <p style="text-align: right;">ジーン・M・アウル著 集英社</p>